

ささやき声検査について

「ささやき声検査」とは、中等度難聴を見つけるために、ご自宅でできる耳の聞こえの検査です。耳の聞こえは、ことばの遅れや周囲の音に対する反応の弱さなどと大きく関係しています。聞こえにくさの程度が軽い（中等度難聴）場合には、日常生活では気づきにくいことがありますので、健診までにささやき声検査を必ず実施し、その結果を「3歳児健診調査票」に記入してください。また、呼んでも振り向かない、何回も聞き返してくるなど耳の聞こえで心配なことがありましたら健診当日にご相談ください。

＜ささやき声検査の方法＞

なるべく外を自動車などが通っていない時を見計らい、テレビやラジオを消してお部屋を静かにしてから検査をしてください。

1. 1mくらい離れ、向かい合って座り、絵シートを子どもの前に（子どもの方向に向けて）置きます。
2. 「この絵の名前を言うから、お母（父）さんが言った絵を指さしてね。」と子どもに言って、普通の声（会話する時の声）で、絵シートの表示した絵の名前を言い、子どもが6個の絵をすべて正しく指せるように練習します。

3. 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて指さしてね。」と子どもに言って、口元を手などで隠し、6個の絵の名前を、ささやき声で1回ずつ言い、正しく指せれば○、正しく指せなければ×、わからなければ△を下の表に記入します。



《 検査の注意事項 》

絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。また、ささやき声が大きくなるように注意してください。

《 ‘ささやき声’ の出し方 》

ささやき声は、息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声は、のど（のどぼとけ）に手をあてたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと、振動は感じません。この状態が‘ささやき声’です。

いぬ	くつ	かさ	そう	ねこ	いす

ささやき声検査用絵シート

